

会費功労による表彰基準一覧表

表彰区分	摘 要	種別	処 遇
特別社員	会員としてのご協力（毎年 2,000 円以上）が 10 年以内に <u>2 万円</u> に達した場合	個人	特別社員称号付与通知 特別社員章 名入門標（プラスチック製）
		法人	特別社員称号付与通知 法人用サインホルダー
五条表彰状	ご協力金額が <u>10 万円</u> に達した場合	共通	支部長表彰状
銀色有功章	ご協力金額が <u>20 万円</u> に達した場合	個人	銀色有功章（楯式）・略章 名入門標（陶製）
		法人	銀色有功章（楯式）・略章
金色有功章	ご協力金額が <u>50 万円</u> に達した場合	個人	金色有功章（勲章式）・章記 ・略章 ※名入門標（陶製）【注】
		法人	金色有功章（楯式）・略章
六条感謝状	ご協力金額が 金色有功章受章後 <u>50 万円</u> に達した都度 （分納額の合算可）	共通	社長感謝状
厚生労働大臣 感謝状 （国の表彰）	同一年度内に、 一時または数次に <u>100 万円以上 500 万円未満</u> の ご協力があった場合、 授与申請をいたします。 ※法人・団体は <u>300 万円以上 1,000 万円未満</u>	共通	厚生労働大臣感謝状 記念品 （昭和 59 年 9 月 12 日付 社庶第 104 号 厚生省社会局長通知）
紺綬褒章 （国の表彰）	一時または分納の申し出により 個人は 500 万円以上、法人等は 1,000 万円以上の活動資金へ のご協力をいただいた場合、授与 申請をいたします。 ※内閣府賞勲局通知により、分 納の初回寄付が平成 29 年 4 月 1 日以降である場合に限り、これ までであった 3 年以内という分納 期限の制限なく授与申請を行え るようになりました。	個人	紺綬褒章 褒状 （昭和 55 年 11 月 28 日閣議決定）
		法人	褒状 （昭和 55 年 11 月 28 日閣議決定）

【注】名入門標（陶製）の贈呈は、個人の方がはじめて有功章（銀色・金色を問わない）を受章した際の一度だけの処遇となります。